

# 千寿の郷 かわら版

介護老人保健施設 千寿の郷

足立区柳原2 33-6

TEL 03-3870-4621

FAX 03-3870-5228

2008年3月10日第106号

ホームページ <http://senjunosato.kenwa.or.jp/>

道々に梅が咲き始め、目に鼻に楽しい春の便りを届けてくれています。千寿の郷の中でも、絵手紙コーナーに紙雛が飾られ、フラワーアレンジの作品には桃や菜の花の小花がほころんでいます。ボランティアさん方が外から届けてくださった「春」を目にして心が和みます。

桃といえば「桃の節句」こと雛祭り。お内裏様とお雛様～ こどもの頃から慣れ親しんだ歌詞です。本来“内裏雛”とは男雛と女雛の一对を指すのだそうですが、現在では歌詞の様に呼ぶのが定着、一般化したのだとか。また、この内裏雛の置き方は、京都と東京では左右が反対なのをご存知でしょうか。古来中国や日本では、「左」がより高位を示し、西洋文化では反対に「右」が同意解釈されていたため、文明開化後の東京では西洋式に「右」に男雛、左に女雛を飾り、京都では古くからの伝統を重んじ東京とは左右を反対に置く家庭が多いのだそうです。男女の高位といった解釈は、現代の感覚ではやや違和感を覚えますが、由来はともかく、古くから慣れ親しんだ文化に季節を知らされるのは良いものです。

時代とともに変わっていく言葉や習慣。私たちが生きる現代を経て、どんな変化を残せるのか。着実に時を重ねる大切さをお雛様に教えられた気がします。まずはその一歩、お雛様とはしばしのお別れとなる桜のときを心待ちにしています。

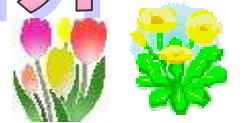
(事務 長谷川康子)



## ～新入職員の紹介～

あさこさとし

浅子智史 (理学療法士)



はじめまして。今年1月早々に柳原リハビリテーション病院から千寿の郷へ異動してきました、理学療法士の浅子智史と申します。入職してからリハ病院でしか働いた事のない私にとって衝撃的だったことがあります。それはリハ病院では走り回っていましたが、ここではゆったりとしていることと自分が関わる書類のやり取りが多いことです。未だに慣れません。仕事に早く慣れ、自分の色が少しでも出せればと思います。趣味はサッカー(フットサルも)なので、サッカーネタをお持ちの方は話を振って頂けたらと思います。それでは宜しくお願いします。

### 《今月の行事予定》

- 5日(水) 新舞踊
- 8日(土) 菊邑会
- 15日(土) 民族舞踊
- 19日(水) あめんぼサークル
- 22日(土) 香雪会
- 25日(火) 居酒屋
- 28日(金) フラワーアレンジメント
- 毎週月曜日、手工芸(絵手紙)
- 毎週木曜日、コーヒーサービス
- 第1.3金曜日 書道

往診のこよみ 春の草花に みつる

通所利用 西岡 道子様

ひなまつり またまた歳とり 春が来る

入所利用 楠 豊子様

春一番 ふきのとうが芽を出して

着物一枚 軽くなる

通所利用 鈴木 三郎様(柳原)

ひな祭り 終れば次は 鯉のぼり

入所利用 青山 善一郎様

野のあざみ 色よく咲けど とげの花

入所利用 猪瀬 キ工様

季節の言葉と弥生



# 千寿の郷のひな祭り



千寿の郷では、玄関先に飾られたひな人形が「和」の光と「うれしいひな祭り」のオルゴールで季節感が醸し出され、また手工芸サークルによる絵手紙作品集がひな祭りの楽しみ方を届けて下さいました。“飾ってうれしい”“作って楽しい”そんな千寿のひな祭りは、いかがでしたか？千寿の郷では当日、利用者様に甘酒と桜餅が振舞われ皆様、ひな祭りの雰囲気を楽しまれました。



雛人形は遅くとも3月中旬までには片付けたほうが良いと言われています。



「仕舞い遅れると、お嫁に行き遅れる」と言い、これは『片付けの出来ない娘は、いいお嫁さんになれないよ』と言う意味で、年長者からの戒めの気持ちが込められています。雛祭り当日の夕方、千寿の郷の三人官女ならぬ、四人官女は、急いで雛人形を片付けていました。これでいいお嫁さんになるとひと安心(?)ですが、また1年間お雛様とは会えず少し寂しい気もします。皆さんの家の雛人形はまだ飾られていませんか？ (デイケア 北島由美枝)



## 絵手紙作品



## おだいき様募集中

### 医療費控除についてのお知らせ

確定申告の時期となりました。老人保健施設でのご利用料金の一部は、医療費控除の対象となります。領収書に医療費控除対象額が記載してあります。確定申告の際にはそのまま領収書をご利用ください。

### お支払い方法について

千寿の郷では、ご利用料金のお支払い方法として、“郵便局の引落し”をお勧めしております。郵便局に口座をお持ちの方は、是非ご協力ください。 ~事務~

### 『今月の格言』

いかに長く生きたかではなく  
いかによく生きたかが問題である。セネカ

## 晴耕雨読

今年度、猛威を奮った冬の大寒波は春の訪れをギリギリまで足止めをしているようです。寒さの中で、「子どもは風の子」という言葉を思い出します。寒い時は寒いなりに、大勢の友達との外遊びに体を温めたものですが、最近はゲーム等の普及でそのような子どもが本当に少なくなったと思います。

昭和時代の風物を懐古するのが流行っている今日この頃、外で遊ぶ子ども達の姿もその一つに加わると思うと、少々残念な気持ちになりますね。 (デイケア 真久 雄一)

### 願いが込められた465筆「署名」の報告とお礼

施設長 長島 喜一

全国的に介護職員が不足し必要なケアが受けることができない要介護者が多く、介護職員の確保は緊急課題になっている中で、老健協会東京都支部が取り組んでいる「介護職員の生活を守る署名」を利用者・家族の皆様にお願ひしたところ、多くの方々から御協力をいただき毎日のように受付に持ってきていただきました。合計で465筆(2/26 現在)を集めることができ、2週間でこれほどの数の署名を千寿の郷で集めたことはかつてないことだと思います。本当にありがとうございました。

国会でも緊急課題として審議している中で、必ずや私たちの署名数が後押ししてくれると思います。労働条件の改善と介護報酬の適正な引き上げの中で、私たちの願いが実現できるように今後も取り組んでいきたいと思ひます。